



HOPPY team TSUCHIYA
レースリポート
2025 SUPER GT Rd.5 鈴鹿サーキット

日時	2025年8月24日 決勝	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	鈴鹿サーキット	■カーNo.	25
■監督	土屋武士	■ドライバー	松井孝允 / 佐藤公哉
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	決勝 20位 (GT300クラス)

灼熱の 300km バトル 「レースができた！」 故の悔しさ残る戦いに

2025 シーズンの後半戦スタートとなる Rd.5 鈴鹿。今季初の Q2 進出を果たした HOPPY team TSUCHIYA は「ようやくスタート地点。目指すところはあくまで勝利」という武士監督の声のもと、ここからの巻き返しにチームの士気も一層上がっている。気温、路面温度ともに厳しい夏の 300km の戦い。HOPPY team TSUCHIYA は、これまでの「原因不明のペースのなさ」から抜け出し、久しぶりに真っ向から「レースをする」ことができた。だからこそ悔しさも残った一戦となった。

決勝レースが行われる日曜日は流石に客足も早く、午前 9 時を前にすでにパドックにも大勢のファンの姿が。しかし今回はウォームアップも午後からということもあり、午前は比較的落ち着いた時間を過ごすことができた。お昼過ぎのピットワークからは、いつものレースウィークの様相になっていった。

チームミーティングでは武士監督から「ようやく普通にレースができるところまで来た。レースをしましょう」と声がかかった。午後 2 時からウォームアップ。現地まで駆けつけてくれた大勢のゲストに見送られ、「ホピ子」コースイン。

▼公式練習 <GT300 @位 2 分 03 秒 507>

アウトラップから 3 周を走行してピットイン。佐藤選手→松井選手で、その後 1 周ごとにピットインを繰り返し、最終確認作業。参考までにタイムは 4 周目がベストだった。このレースウィークを通して、松井選手、佐藤選手、木野エンジニアが顔を突き合わせる時の表情は幾分明るさを感じられる。あとは決勝でどのような走りができるかだ。

▼決勝 <GT300 20 位>

この日のグリッド上はアスファルトの照り返しとこもった熱で想像以上の暑さ。ほんの少しいるだけで汗が吹き出してくる。ドライバーにとってもかなりの厳しさが想像される。少しだけ陽が傾き始めた午後 3 時 37 分。GT300 クラスはポールポジションのスバル BRZ を先頭に、レーススタート。最初のステントを担当したのは佐藤選手。オープニングラップでは特に混乱なくスタートポジションの 18 位をキープ。4 周目にアクシデントで SC（セーフティーカー）導入。ホピ子は 8 周目にピットイン。ここでは給油のみ。展開次第でのポジションアップを狙ったが、ならず。その後直線スピードの速



い車に抜かれ 22 位まで順位を下げる。そのまま 16 周目に 2 度目のピットストップ。ここでドライバーは松井選手に交代。給油とタイヤ交換を済ませピットアウト。順位は一つ落として 23 位へ。その後コンスタントに周回を重ねる中で、18 周目に 22 位、19 周目には 21 位に。オーバーヒートで戦列を去るマシンも出てくるなど、やはり厳しいレースとなった。アストンマーティンがタイヤバーストし、なんとかピットに戻ろうとスロー走行を重ねる。さらにフェラーリが豪快にタイヤバーストさせ 32 周目 FCY（フルコースイエロー）。

GT3 勢に立て続けにアクシデント。ロングランのツケが出てくるチームも現れ始める。松井選手がドライブするホピ子は、21 位まで順位を上げたところでチェッカー。真夏の鈴鹿での戦いが終わった。上位の車両がレース後に車検不合格となり、最終成績は 20 位。結果はチームとしては決して満足のいくものではなかったが、激しいバトルを展開することもでき、確実に前進している手応えを得たレースとなった。次戦、菅生に必ず繋がるはずだ。

▽土屋武士監督コメント

順位は悪かったが内容的には『久々にレースができた』という内容だったので、ある意味納得しています。我々に色々足りないものがあつたし、今までとは違って『これをやればこうなる』という対策もできています。次の菅生に向けてしっかりと準備をしたいと思っています。最初のピットストップを給油のみにしたのは、臨機応変の判断でした。あそこで前の 1 台を抜けていれば展開は全然違ったと思う。今回、ストレートで伸びずに抜かれてしまうという問題があつたので、原因を探ります。まだまだ足りないということが、ポイント圏内を走れたことで見えてきました。まだ下位ですが明るい兆しが見えてきています。頑張りますので応援よろしくお願いします！

▽松井孝允選手コメント

決勝を走ってみて、足りない部分を発見できました。勝つためにはまだまだ全然足りません。僕自身も進化しなければいけないし、チームもコンマ 1 秒でもロスがないように詰めていかないと上にはいけないと感じました。レースはちゃんと戦えたかな、とは思いますが、他のクルマがサクセスウェイトを積んでる中なので、自分たちはもっと上位でフィニッシュしないとダメ。非常に悔しいです。今回暑い中で応援してくださった方々もいますし、テレビで応援してくださっていた方々もいます。早く結果で応えたいです。頑張ります！ありがとうございました。

▽佐藤公哉選手コメント

とても暑い中だったが無事に完走することができました。スタートを担当したが、序盤からセーフティーカーが出たり、荒れる展開でした。序盤は集団の中で苦しい展開もありポジションを少し落としてしまいました。チームが良い作戦をとってくれ、また、松井選手が後半の長い距離を良いペースで走ってくれました。次の菅生に向けて良い収穫があつたと思うので、時間がたっぷりあるわけではないですが、しっかりと前進できるように、僕自身もドライビングでなんとかしなければいけないところがあつたので、しっかり取り組んでいきたいです。これまでのレースと比べると、他の車とバトルをして、順位争いをしたという意味ではレースができたと思います。その上で足りないものも確認できたので、みんなで力を合わせてやっていけます。確実に前進はしていると思いますが、周りも進歩しているのでより一層しっかり取り組んでいきたいです。応援ありがとうございました。

◎YouTube チャンネル「つちやエンジニアリング_sub_ch」を開設しています。

チャンネル登録も是非お願いいたします。

https://www.youtube.com/@tsuchiya_25

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当： 土屋・豊原